

2023年 第84回定期大会

軍拡路線反対の声を上げ、平和な世の中に!



発行所
和歌山県高等学校
教職員組合
和歌山市地保町東ノ丁50
TEL 073-432-6355
FAX 073-432-6357
Eメールアドレス
w-koukyoso@
image.ocn.ne.jp

定期大会特集号 その1

6月17日(土)、和高校第84回定期大会が、プラザホープで開催されました。今年も、通常の1日開催に戻し、代議員数も制限をなくして開催しました。

討論では、代議員から15本の発言があり、活発な意見が出されました。非常に元気の出る大会となり、2023年度の運動方針を確立しました。

大会アピールでは、理不尽なトップダウンに負けず、職場を基礎に生徒たちが明るく学び成長していく学校をつくるため頑張ることを確かめました。



トップダウンではなくボトムアップで教育の自由・独立性をまもろう

執行委員長あいさつ



執行委員長 石原 徹

各職場・組合員の皆様に、多忙が進行するなか、生徒たちの健やかな成長・発達を願い、日々奮闘されることにも、教職員の権利・労働条件の改善、平和・民主主義擁護、組織拡大など、ねばり強くとりくんでおられることに対し、敬意を表するものです。

5月半ばより、この定期大会に向けて、本部役員が職場を訪問しました。「全国募集」や「普通科改革」など、全県一学区制の下での特色づくりを求める施策が強められている職場では、多忙がますます進行し、「もうぎりぎり」、「トップ

イン授業」や「ICT教育」が急速な勢いで進められていますが、そこには「教育の市場化」という、経済的な思想が潜んでいます。ツールの一つとして、これらの選択肢を否定するものではありませんが、生徒の成長にとってどのような影響があるのか、検証をおろそかにしてはなりません。コロナ禍を経験する中でわたしたちが感じたことは、ゆとりのある学級定員の実現によって、学習活動をより豊かに進めることができるということです。

学級定員の改善が少しでも速く高等学校にも及ぶように、運動を進めていくことが大切です。保護者や地域の人が高校教育に寄せられる期待、高校生自身の願いを聞き、ともに考える取り組みで運動の幅を広げ、展望を切りひらいていきたいと思います。

全国的に教職を目指す者が減少しています。教育現場における長時間過密労働の実態が多くなると、知るところとなり、仕事と私生活のバランスを重視する人にとっては、賃金もさることながら、ゆとりを持って職場環境の実現が図られなければならないでしょう。

そのような労働環境を実現すること、生徒たちの成長・人格の完成を目指す教育内容を充実させること、車の両輪ともいえる一つにつながった課題です。

5月16日、自民党の「令和の教育人材確保に関する特命委員会」の提言が公表されました。5月22日、永

全国的に教職を目指す者が減少しています。教育現場における長時間過密労働の実態が多くなると、知るところとなり、仕事と私生活のバランスを重視する人にとっては、賃金もさることながら、ゆとりを持って職場環境の実現が図られなければならないでしょう。

そのような労働環境を実現すること、生徒たちの成長・人格の完成を目指す教育内容を充実させること、車の両輪ともいえる一つにつながった課題です。

5月16日、自民党の「令和の教育人材確保に関する特命委員会」の提言が公表されました。5月22日、永

あるのか、検証をおろそかにしてはなりません。コロナ禍を経験する中でわたしたちが感じたことは、ゆとりのある学級定員の実現によって、学習活動をより豊かに進めることができるということです。

学級定員の改善が少しでも速く高等学校にも及ぶように、運動を進めていくことが大切です。保護者や地域の人が高校教育に寄せられる期待、高校生自身の願いを聞き、ともに考える取り組みで運動の幅を広げ、展望を切りひらいていきたいと思います。

全国的に教職を目指す者が減少しています。教育現場における長時間過密労働の実態が多くなると、知るところとなり、仕事と私生活のバランスを重視する人にとっては、賃金もさることながら、ゆとりを持って職場環境の実現が図られなければならないでしょう。

そのような労働環境を実現すること、生徒たちの成長・人格の完成を目指す教育内容を充実させること、車の両輪ともいえる一つにつながった課題です。

5月16日、自民党の「令和の教育人材確保に関する特命委員会」の提言が公表されました。5月22日、永



生徒が誇りを持てる学校に 全ての教職員の労働条件の改善を

討論 代議員発言より

イーストエリア プロジェクト始動



和歌山東分会
横出 加津彦 代議員

和歌山東高校へ赴任しては2年、生徒は人なつこくて、あいさつもしてくれず。でも生徒の言葉で、「先生、粉河高校へ戻りたいやろ」と言ってくる生徒がいて、「先生、希望して来たんや」というと「ええ」と驚くのです。自分の学校に誇りを持っていないのかと考えると、自分も、そんな生徒たちと昨年、地域を活性化化する取り組みをおこなって、いこうと決めました。生徒たちは「イーストエリアプロジェクト」とカッコいい名前をつけてくれました。その活動に、和歌山電鉄や「貴志川線の未来をつくる会」など多くの地域の人たちが参加して、貴志川線祭り・貴志祭を開催することができました。

当日は、よさこい、バンド演奏や貴志川線活性化

化のシンポジウム、また地域観光のスポットを紹介したりと盛りだくさんのイベントを見事成功させました。生徒たちは、終了後の感想に、「今まで人前でしゃべることなどできなかったけど、このイベントのおかげで、自信がきました」と書いてくれました。私が赴任した年の取り組みでしたが、分会の先生方は当日差し入れてくれるなど協力してくれました。本当にありがたかったです。これから、生徒の誇りを少しでも持つ生徒会活動を生徒と共にすすめていきたいと思います。

NEVER GIVE UP 参ってたまるか!



笠田分会
都築 朋大 代議員

実際に、7年ぶりに代議員としての定期大会の参加となった。気持ち新たな気分である。役員時の5年間、各分会に「穴」調査を行った。

ここ2年ほど4月の「穴」が、年度内に埋まらないというケースが見られた。県教委がいうように「人手不足」もあるかもしれないが、最大の原因は「労働条件が良くない」からと考えている。

最近のたたかいで、空白の一日の撤廃や、給与上限の撤廃、臨時的任用職員の年休繰越の一部可能など、よくなった部分もあるが、決して高くない給与水準や、不完全な年休繰越など、不十分な労働条件があるのも事実である。

正規教職員が病休など、安心して長期休職できる裏付けとなるのが、臨時教職員の存在があるからである。「穴」が空いて困るのは生徒たちである。正規教職員も自分のこととして、非正規教職員の権利拡大を考えていかなければならないのではないか。

分会では非常勤講師の方々を含め、5名の新しい仲間を迎えることができている。楽な状況ではないが「NEVER GIVE UP(参ってたまるか)」の精神で頑張りたい。



非正規の労働 条件向上が大切



箕島分会
村上 政広 代議員

現在、和歌山県の教員試験の講師経験一部免除は、中学・高校は総合教員試験のみです。この免除の対象者は、和歌山県内の国立・公立学校で、講師経験直近6年間のうち4年間、うち2年以上の受験校種の講師経験が必要で、現在、受験校種2年以上の講師経験の縛りを撤廃するように訴えています。前進することができません。

講師経験が長い臨時教員ほど、教員試験に合格しないことが現在起こっています。県教委は、地公法第22条の3の第5項「臨時的任用は、正式採用に際して、いかなる優先権をも与えるものではない」とよく回答します。しかし、同じ地公法第15条で、「職員の任用は、(中略)受験成績、人事評価、その他の能力の実証に基づいて行わなければならない」と書かれています。臨時教員の講師経験の勤

務実績や資質・能力を、県教委が評価しているとさえ思えません。長期臨時教員が正規教員になれるような教員試験制度のあり方を、考えてほしいと思います。

生徒・教員の 安全のために



那賀分会
松尾 伸司 代議員

那賀分会の松尾と申します。学校では生徒指導部長として2年目の年になります。その中で思うことは、校内の防犯対策については、先日、愛知県警から連絡が入り、一人の窃盗犯を逮捕したとのことでした。その窃盗犯は数回にわたり、学校に侵入し窃盗を繰り返していたそうです。実際、那賀高校では部外者侵入禁止と校門に看板は立っているものの、それが何かの抑止力になっていないかというところではないかと思えます。生徒・教員の安全がさらに確実なものとなるよう警備員を配置するなどの警備体制に予算を付けていただきたいと思います。

最近の職場で同年代の先生との笑うに笑えない会話。「ここ40年で無くなった校務といえば『地区別懇談会と座高測定くらいか?』私が教職に就いた頃はどの学校も全体に余裕があり、先生も元気で、生徒も今よりゆとりがあった。今、現任校では○○委員会と名のつく委員会だけでも22。その他の業務も膨れ上がりスクラップしてこなかったことを実感する。「給特法」や「教員増」に加え

いつか来た道に 向かわないように



熊野分会
松下一 京 代議員

焦臭くなってきた昨今、平和の尊厳を家族の体験から生徒に伝えることにしている。祖父は戦時中米国の砂漠にある強制収容所で4年間過ごした。戦争で犠牲になるのはいつも弱い立場の市民だ。また、米国西海岸在住の親戚から聞いた話。「なぜ、家に銃を置いていないの?」聞くと、「持ったら使いたくなるやろ。」これが人間の性。兵器も同じ。日本も「いつか来た道」に向かわないように、残り少ない教師生活だが、若者に話していこうと思う。

何より「業務の見直し」が大事だ。マンパワーは有限である。先生がバタバタしては、接する生徒も余裕がなくなるのは当然のこと。



方針を提案する
中村 正道 書記長

「業務の見直し」が大事だ。マンパワーは有限である。先生がバタバタしては、接する生徒も余裕がなくなるのは当然のこと。

焦臭くなってきた昨今、平和の尊厳を家族の体験から生徒に伝えることにしている。祖父は戦時中米国の砂漠にある強制収容所で4年間過ごした。戦争で犠牲になるのはいつも弱い立場の市民だ。また、米国西海岸在住の親戚から聞いた話。「なぜ、家に銃を置いていないの?」聞くと、「持ったら使いたくなるやろ。」これが人間の性。兵器も同じ。日本も「いつか来た道」に向かわないように、残り少ない教師生活だが、若者に話していこうと思う。

平和の尊厳を もたらすために 伝えよう



職場を基礎に、仲間をふやそう!

昼食会 悩み・困り事の相談 組合の意義を説いて加入につながる



発行所
和歌山県高等学校
教職員組合
和歌山市美保町南ノ丁50
TEL 073-432-6355
FAX 073-432-6357
Eメールアドレス
w-koukyoso@
image.ocn.ne.jp

定期大会特集号 その2

なりふり構わず 組合員を増やそう



海南分会

大野 謙一 代議員

最近、腹の立つことが多いんです。海南高校は6月2日の水害でたいへんでした。日方川が氾濫して、ほとんど水が押し寄せてきて、昼ごろ何とか学校を脱出。洪水後も校内そして外の駐車場も泥だらけ。生徒といっしょに泥かきをしました。ところが先日の職期で、洪水の日の補充授業を行うと言った。調査中の1時間目。昼の終業時間が押すので「短縮でええんと違つか」と提案したところ、たつたら分の話ですったもんだ(後日、短縮になりました)。オルグで聞いた484兆円、和高教の資産かと思えば、大企業の内部留保金とのこと。今私たちがすべきことは、なりふり構わず組合員を増やすこと。各分会が3名以上組合員を増やすと専従を1人以上1年間雇うことができます。分会という柱があつての和高教本部。「職場を基礎に」和高教を支

高校における通級による指導の今とこれから



有田中央分会

上岡 美佐 代議員

有田中央高校では、通級による指導がはじまり6年が経過しました。担当する教員が支援学校より配置されており、通級指導をすすめています。通級による指導で生徒は課題に向き合い大きく成長することができ、進路やその後の支援まで手厚く関わっています。担当している教員は、ホームルームや授業での生徒把握、や声かけ、教科担当や担任、ソーシャルワーカーとの連携、放課後の自立活動の授業などフル稼働してくれており、とても頼りになる存在です。また、今年度からは選択授業で「自立活動」を開講しました。そんななかですが、県教委はこれからはすべての学校に通級による指導をすすめていくのでは?という様子が見え、拠点校からの他校通級

昼食会で仲間が増えた



串本古座分会

岡田 雅喜 代議員

串本町にロケット発射場ができて、昨冬あたりから入ベースワンの従業員を頻りに見かけるようになった。ロケット打ち上げについては、幾度かの延期があり、まだ発射されてはいない状況であるが、もうすぐ打ち上がるらしい。そんな中、串本古座高校でも今年度に入って宇宙探究コース開設に向けてあわただしくなってきた。ただ令和6年度の入学生から対象で、一部の職員と有識者だけで宇宙探究コースの中身について検討を重ねており、その他の職員はあまり知らないのが現状である。組織拡大については、分会として昼食会を開いた。新採の先生方を招いて、日頃の悩みや困っていること、また楽しかったことなど、昼食をとりながら色々話した。その中で、労働組合についてもふれ、目的や意義なども話をした。すると嬉しいことにその場で一人の先生が加入してくれた。先生方と対話することの大切さを改めて実感できた。昼食会であった。

教育費無償化の 拡充を進めよう



和歌山工業分会

石田 道幸 代議員

昨年度第二支部主任手当拠出運動「教育文化のつどい」

大会初参加 教育現場の理不尽な 課題に気づけて良かった

定期大会初参加です。午後からの、先生方の熱い訴えに夢中になりました。

自分が気づいていないだけでそこにある、教育現場が抱えるたくさんの理不尽な問題に気づくことができよかったです。情報を共有し団結することの大切さを改めて認識し、また、仲間のために発言してくれる先輩方がたくさんいることをとても心強く感じました。これからはもっと積極的に組合の集まりに出席していきたいです。同世代の仲間も増えればいいな!
(星林分会 青年部 坂浦天馬代議員の感想より)

通信制生徒の 学習権を守れ



伊都中央分会

山西 志保 代議員

私鉄各社で回数券が廃止されつつあり、通信制の生徒が大きな影響を受けています。スクーリングでの登校日は、生徒にとっても教員にとっても貴重な機会です。生徒からも不安の声があり、回数券がないことで、予定していたスクーリングに登校できないことを心配しています。学校訪問のいわゆる3点セット(研究授業、公開授業、研究協議)が、「強制しない」から「やらせろ」とやってもらうに、なし崩し的に変わってしまいました。授業の主体は生徒と教員です。上からの強制、見せるための研究授業ではなく、学校の実情に応じて行えるような体制を守らねばと思えます。

和高教 職場新聞コンクール

最優秀賞 海南分会『春日山通信』

「スキャンダル」の4連覇阻止!!

最優秀賞 『春日山通信』 海南分会
 特別賞 『スキャンダル』 貴志川分会
 優秀賞 『ひのくま』 向陽分会
 佳作 『風猛』 粉河分会

『つわぶき』 実習教員部
 努力賞 『たいむ』 第二支部 『司書部だより』 司書部
 『ハンサム・ワーマン』 女性部

より良い勤務条件を求めて



市和歌山分会
大橋誠 代議員

いま市高では、育休復帰時の給与復元の問題で和歌山市教委と交渉している最中である。市高の労働条件は、県立より良い面もあるが、給与の面では県立と大きく開く場合がある。民間はもっと高い給与を出している。これでは教員に良い人材が集まらない。そして、県立との人事交流も進まない。今後とも市高の教員の労働条件改善のため、第二支部、本部と協力しながら取り組んでいきたい。

討論 専門部より

青年部の使命



青年部長
宮本宇洋(星林分会)

感染症に脅かされた時代から、世の中は新時代を迎えている。教育現場においても、その変化は大きくみられる。これからの教育において「教育の何を残し、何を棄てて行くのか」が大きなテーマであり、課題となっている。その課題に真向きから立ち向かうのが私たち「青年部」の使命である。しかし、今、その役割を担わなければいけない。

「組合員を増やし、仲間を増やすこと」。この言葉につきると思う。11年前、私は初任の学校で、パワフルで行動力あふれる良き先輩(師匠)と出会った。その方が組合に入っていたこともあり、色々な方々とつながり、様々な経験を積むことができた。全ての経験が今の自分にプラスになっている。自分が成長する機会を作ってくれた、提供してくれた。学校が変わった今でも、関係は消えていない。現学校の生徒に声をかけてくれ、「組合と教育のつながりの輪」を広げてくれている。本当に感謝している。青年部長として、自分ができる最大限の力を発揮していきたい！今後ともよろしくお願いたします。

先読み加配の実現を!



女性部長
鈴木裕子(海南分会)

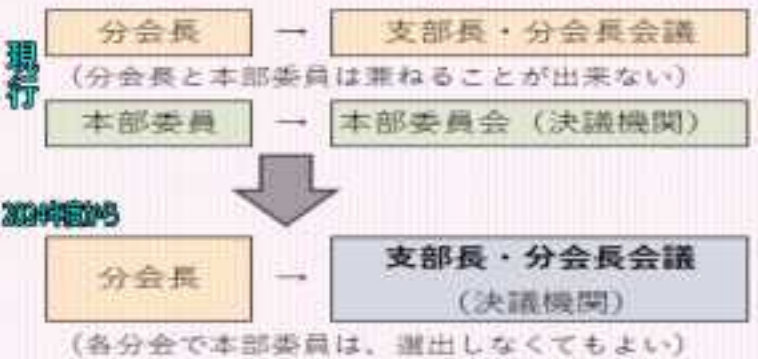
平素より女性部へのご支援ありがとうございます。特に、「邦子さん」と呼ば

大会参加者感想 楽しく元気な発言に共感

「あー、おもしろかった」定期大会に参加した感想です。こんなに楽しく元気になった定期大会は初めてかもしれません。その理由はなぜなのか考えてみました。それはたくさんの先生方の笑いを交えながらのお話を聞いて共感することで、改めて人とのつながりを感じられたからだだと思います。たとえば、和歌山東分会の横出先生のお話を聞いて生徒が変化したお話。それから海南高校の大野先生のお話。とにかく組合員を増やしていくぞー、のお話(切れ味するどく面白い)。向陽という限られた空間で、日々の忙しさの中で、自分の視野が狭くなっているのを感じるとともに、心が軽くなる思いがしました。(向陽分会 早崎 潤子 代議員の感想より)

2024年度より 組合規約改正

本部委員会(決議機関) → 支部長 分会長会議(決議機関)



今大会で、「組合規約改正」を提案し可決されました。今回の規約改正は、組織における機関会議のありかたを大きく変えるものです。これまで「本部委員会」は、大会に次ぐ決議機関として、秋闘方針、春闘方針などの決定、役員選挙の公示、承認、中間決算、更正予算、暫定予算等の承認を行ってきました。「支部長・分会長会議」は、大会や本部委員会で決定した方針を周知し、情報交換、執行部へ要望、施設設備交渉、人事定数交渉などを行う機関会議としての役割を担ってきました。

今回の改正では、現行の「本部委員会」と「支部長・分会長会議」を「支部長・分会長会議」に統一し、大会に次ぐ決議機関として位置づけます。新たな「支部長・分会長会議」は、年6回の開催を予定しています。この改正の施行日は、2024年4月からとなります。来年度までに各分会へのオルグや機関会議を通して、周知していきます。また、執行部としても新たな「支部長・分会長会議」にむけて準備を行っています。

確保し教育に穴をあけな

減措置が適用されるよう

女性部は、本年度も母



司書部では「パピルス」

女性部は、本年度も母

私たちが実施教員は理科

一人の司書が組合に入

私たちが実施教員は理科



実習教員部長
島本紀子(粉河分会)

更なる活動の充実を目指して

